

第12回富山県農村医学研究および健康管理活動発表集会記録

日時：平成7年1月28日

場所：厚生連高岡病院
地域医療研修室

第12回の研究発表会は、平成7年1月28日、厚生連高岡病院にて、発表演題7題、参加約70名でおこなわれ、活発な討論がおこなわれました。

なお、発表演題名は下記の通りです。

《プログラム》

1. 開会の挨拶 (13:30~13:45)
2. 会員発表 (13:45~15:45)

座長 前富山医科薬科大学教授 渡辺正男 (13:45~14:30)

*特別発言

富山県農村医学研究会の展望と期待

富山県農村医学研究会 越山健二

*一般演題

1. 在宅医療への阻害因子をさぐる

厚生連高岡病院

○西井智恵美 新井留美 野積庸子 上野千晶 浦井元子
田中澄子

2. ボランティア組織「萌ぎの会」の活動について

高岡「萌ぎの会」

畑 泰子

座長 厚生連高岡病院副院長 豊田 務 (14:30~15:00)

3. 富山県の空中花粉調査(1994)の特徴と地域差について

富山医薬大 公衆衛生

○寺西秀豊 劔田幸子 加須屋実

富山県農村医学研究会

大浦栄次

4. 母と子の食嗜好とアレルギーの関係について

福野街農協

○高橋真由美

福野街保健センター

五嶋晴美

福野小学校

池田益美

富山県農村医学研究所

大浦栄次

座長 高岡市保健センター所長 熊谷武夫 (15:00~15:45)

5. 人間ドックにおける body mass index (BMI) と健康度との関係について

厚生連滑川検診センター ○岸 宏栄 小川忠邦 川口京子 松井規子 大原千津子
川岸智美 保井陽子 谷川秀明 川原隆徳

6. 二次検診の受診率向上の一考察 -受診状況の実態調査より-

厚生連高岡検診センター ○福田久美子 小林昭子 坂次順子 森内尋子 渋谷直美
佐武千佳子 作道康子

7. 胃癌検診の現状と問題点

厚生連滑川検診センター ○小川忠邦 宮坂 貢 中谷恒夫 永田広幸 石川 靖
堰下正幸 土田忠浩 永田 浩 岸 正範 川田勝義

3. 閉 会 (15:45)

第 25 回 通 常 総 会 記 録

日時 平成6年6月4日 午後1時30分～
場所 富山県民会館 401号室

I. 総会議事の概要

- 会 員 総 数 329名 うち出席者66名 委任状140名
会 長 挨拶 越山健二
議 長 選 出 厚生連本所 柳井道之
議事録署名人 滑川市 石倉俊宜
 新湊市 佐伯秀信
書 記 橋本賢治 井村 守
議 事
第1号議案 平成5年度事業報告書, 財産目録, 収支決算報告承認について
第2号議案 平成6年度事業計画及び収支予算承認について
第3号議案 役員の一部改選について
第4号議案 顧問の一部変更承認について
特 別 講 演 金沢大学名誉教授 酒井栄一
演 題 「研究と回顧」

II. 平成5年度事業報告書

(平成5年4月1日～平成6年3月31日)

I. 事業の概況

平成5年度事業の終了に当たり、事業の概況について報告致します。

昨年度は百年に一度と言われる大凶作、並びに米の備蓄政策の失敗による大量緊急輸入。さらに12月14日には米の部分解放が決定され、日本の農業史上最大の転換点となりました。

とりわけ、全国で耕地面積の水田化率が最も高い富山県農業と農村に対する打撃は、凶りしれないものがあります。水田稲作農業は、日本の自然環境を保全し、豊かな日本文化を築いてきました。

本会では、益々厳しくなる農業、農村に生活する人々のより豊で健康な生活を築くため、会員のみなさんと共に調査研究を続けてまいりました。

昭和45年より続けております農業機械災害事故調査、また、昭和55年より実施しております農業機械以外による農業災害事故調査について、今年度も実施してきました。農業中毒の臨床例調査も昭和55年より続けております。

農業災害、農業中毒調査は、我々が交流を続けている中国河南省の2つの県でも、我々と同様の方法で今年度実施され、中国と日本の農業災害、農業中毒の特徴が明らかにされました。

農業散布者の有機リン剤の尿中代謝物の排泄状況及び生体内残留の検討も引き続き精力的に進められています。

農業機械による騒音暴露量の調査も引き続き実施され、農業機械による騒音性難聴を惹起される可能性が考えられ、防護の徹底が必要と考えられました。

その他、富山県内の空中花粉調査や、アレルギーに関する調査も農協組織等と協力し継続的に実施しております。

農村における健康状態の把握に関する調査研究も引き続き実施しております。高岡、滑川の農村検診センターにおける健康調査、みそ汁塩分調査と保健調査等、農村における健康状態の解明のための調査研究を行なってきました。

なお、以上の課題のうち農薬中毒に関する調査は厚生科学研究の一部としても実施しました。

これらの研究成果は、横浜市で開催された第42回日本農村医学会、第11回富山県農村医学研究及び健康管理活動発表集会等、各種学会や本会会誌等で発表しています。

以上、本会の活動は医療関係者はもとより行政、農協、及び農村の健康問題に関心のあらゆる方々の協力により実施されてまいりました。次年度も引き続き事業計画に基づき、さらに研究調査に鋭意取り組んでまいりたいと思いますので、会員各位の絶大なるご協力をお願い致します。

最後に、県当局、農協各連より絶大なるご援助をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

II. 主な事業項目の概要

I. 第24回総会（平成5年6月5日、富山県農協会館）

- ① 議事
 - ・平成4年度事業報告、収支決算書承認
 - ・平成5年度事業計画、収支予算書案承認
 - ・役員改選について、顧問の承認について

② 特別講演

講師 長野県佐久総合病院院長 若月俊一氏

演題 「これからの保健、医療、福祉」

II. 研究調査活動

(1) 農業災害に関する調査研究

① 富山県における農業機械災害事故調査

昭和45年より実施している農業機械災害事故調査を県内全ての整形外科、外科、接骨院750カ所余りを対象に実施した。本年度もこれまでと同様一次調査として災害事故例の有無について調査し、「症例有り」との回答があった医療機関に詳細報告を求めた。一次調査は前期（1～8月対象）、後期（9～12月対象）と2度実施した。件数は例年と略同数であった。

② 富山県における農業機械以外の農業災害事故調査

昭和55年より行なっている標記調査について、前項と同様一次調査、詳細調査を行なった。

③ 農業機械による手の外傷の治療について

農業機械災害事故の症例を示し、事故の予防対策、救急の在り方について検討した。

(2) 農薬中毒に関する調査研究

①富山県における農薬中毒の臨床例の収集とその問題点の解明

昭和55年より県内の内科、外科、小児科、眼科、皮膚科を標榜する約650カ所の医療機関全てを対象に農薬中毒の臨床例の有無を調査してきた。本年度も同様の方法にて一次調査として、農薬中毒臨床例の有無の調査を行い、「症例有り」と回答のあった医療機関に詳細報告を求めた。なお、一次調査は前期（1～8月対象）と後期（9～12月対象）の2度実施した。

②日本と中国における農薬中毒比較

富山県農村医学研究会と同様の調査方法で、中国河南省の2つの県において農薬中毒調査が実施され、その結果の比較検討を行ない、両国の農薬中毒の特徴並びにその予防対策について検討した。

③農薬散布と血清中カロチン濃度の検討

農薬散布者と非散布者、合計500名の血清中カロチン濃度を比較した。その結果、両群に特に差は認められなかったが、喫煙者、飲酒者のカロチン濃度が低く、今後、カロチン濃度と喫煙、飲酒及び農薬散布の関係について検討が必要と考えられた。

(3) 農村における騒音と聴力障害について

①各種農業機械による作業時の騒音暴露の測定

昨年に引き続き、各種農業機械の作業時の騒音暴露量について検討した。その結果、作業条件等により多くの農業機械により騒音性難聴が惹起する可能性が考えられ、耳栓等の防護が必要と考えられた。

②山村住民の聴力の検討

継続調査をしている利賀村住民の聴力調査、並びに耳鼻咽喉科検診を実施した。

(4) 農村における各種健康調査

①日帰り人間ドック受診者のインスリン濃度の検討

日帰り人間ドック受診者約500人のインスリン濃度と各種検診項目との関連性を検討した。その結果、肥満度や中性脂肪、HDLコレステロール等と強い相関があり、動脈硬化のリスクファクターの一指標として位置付けることができると考えられた。

②人間ドックにおける血清脂質と食週間の関連について

約5,300人の日帰り人間ドック受診者の血清脂質と食生活問診の関係について検討し、今後の食生活問診の取り方、また検診後の健康相談の内容等について検討した。

③継続受診者の高脂血症の経過と保健相談の内容検討

高岡検診センター受診者1,400人余りについて、初年度に高脂血症判定を受け、その後の3年間の判定の変化と食生活の改善の関係を検討し、今後の保健相談の方法について検討をした。

④みそ汁塩分濃度及び保健調査

小矢部市農協管内約1700戸のみそ汁塩分濃度の測定及び、癌検診受診率等の保健調査を実施した。以前から報告している通り、具の多いみそ汁では塩分濃度が低いこと等が確認された。

⑤ハウス農家の健康調査

先に冬期間のハウス農家の健康調査を実施した。今年度は同一の対象者の夏場の健康調査を実施、ハウス農家の健康管理の課題について検討した。

⑥幼児の食週間の検討

福野町の保育所に通う年長児を対象に両親との食生活習慣の検討を行ない、未来を担う子供達の食習慣と両親の食習慣の関連性について検討した。

(5) 農村におけるアレルギーに関する調査研究

①富山県における空中花粉調査

県内の農協等の協力を得て、春先の空中花粉の飛散状況調査を7ヶ所で実施した。これまで、富山県において広域的な空中花粉の基礎資料がなく、本調査により、次第に県内の空中花粉の飛散状況が明かになりつつあり、今後花粉情報の提供、また、農村における花粉症等のアレルギー疾患の予防にも役立つと考えられる。

②山村住民のスギ RAST の検討

利賀村住民のスギ RAST を検討した。その結果、山村住民では自覚症状のある者の比率は低い、RAST 陽性者比率は高かった。今後、スギ花粉に感作されながら症状を軽減させている因子等について検討が必要と考えられた。

(6) 農村検診センターにおける検診結果と、今後の農村における保健活動の課題

農村検診センターにおける約10,000人の受診者の検診結果の分析を通じ、今後の農村における健康管理の課題について検討した。

Ⅲ. 各種研究集会参加・交流並びに開催

(1) 第42回日本農村医学会

- ・開催日時 平成5年10月7, 8日
- ・開催場所 横浜市
- ・会員発表 富山県より10題発表
 - 高齢者の糖尿病集団指導 (溝口由紀美 他)
 - ーカルタ遊びとフードモデルを取り入れてー
 - 胃切除術を受けた患者の食事指導の一考察 (小竹真希子 他)
 - ーアンケート調査結果から食事指導パンフレットを作成しー
 - 遺族アンケート調査を通じてターミナルケアを考える (前田美由紀 他)
 - 富山県一山村におけるスギ花粉症と地域差 (豊田 務 他)
 - 農村アレルギーにおける免疫学的スクリーニング法の考案 (寺西 秀豊 他)
 - チューリップ球根生産者の労働負担について (館 澄男)

- 各種血清脂質の相互関係 (小川 忠邦 他)
- 乳癌の自己検診法の実施状況 (高田 久子 他)
 - －面接によるアンケート調査より－
- ラジコンヘリによる農薬散布者の健康調査 (大浦 栄次 他)
- 富山県における農薬中毒の実態調査 (第2報) (寺中 正昭 他)

(2) 第11回富山県農村医学研究及び健康管理活動発表集会

- 開催日時 平成6年1月29日(土)
- 開催場所 厚生連高岡病院 地域医療研修室(1)
- 会員発表 10題(参加者約70名)

(3) 中国河南省における農薬中毒・農業災害事故調査の共同調査の実施

IV. 印刷物の刊行

会誌第25巻の発刊

Ⅲ. 主な行事（平成5年4月1日～平成6年3月31日）

年月日	主 な 行 事	
	事 項	場 所
5. 4. 1	空中花粉定点観測 (3. 2. 20～4/30)	井波農協, 立山町農協 厚生連看護専門学校 厚生連滑川病院, 太田小学校, 黒部農協の各 屋上
4. 26	幹事会	厚生連会議室
5. .	小矢部市農協みそ汁塩分等保健調査	小矢部市
5. 21	平成4年度第2回理事会	厚生連会議室
6. 5	第24回総会	農協会館
6. 10	山村住民の耳鼻咽喉科検診, および山村住民 の難聴調査 (6/10, 24, 7/8)	利賀村(豊田, 大浦他)
6. 17	中国河南省医政処医師団3名来県(～6.25)	
6. 18	ワークショップ「中国・日本の農村における 保健・医療の現状と課題」開催	富山県農協会館
6. 17	農協婦人部フレッシュミセスリーダー研修会講演	(館野出席)
6. 25	第82回日本農村医学会理事会	(越山出席)
8. 6	第15回富山県農村の健康会議	富山県農協会館
8. .	農薬散布者, 尿中代謝物調査	
8. 10	ハウス農家の健康調査	富山市(小川他)
8. 31	幹事会	厚生連会議室
9. .	平成5年度前期農薬中毒, 農業災害実態調査	
9. 25	平成5年度第1回役員会	厚生連会議室
10. 7～8	第42回日本農村医学会	横浜市(発表10題)
11. 26	平成5年度第1回理事会	厚生連会議室
6. 1. .	平成5年度後期農薬中毒, 農業災害実態調査	
1. 14	高齢者問題専門委員会	厚生連会議室
1. 29	第11回富山県農村医学研究及び健康管理活動 発表集会	厚生連高岡病院 (約70名参加)
3. 5	日本農村医学会「農業災害問題特別研究」班 会議	東京

IV. 総 会

第24回通常総会

平成5年6月5日

総会日現在会員数		261名
出席会員数	実際に出席した会員	99名
	代理議決	0名
	書面議決	139名
	計	238名
<p>重要な議事及び議決事項</p> <p>第1号議案 平成4年度事業報告書、財産目録、収支決算書承認について 原案承認</p> <p>第2号議案 平成5年度事業計画案及び収支予算案承認について 原案承認</p> <p>第3号議案 役員の改選について 原案承認</p> <p>第4号議案 顧問の承認について 原案承認</p> <p>※議事終了後、講演会を開催 特別講演 長野県厚生連佐久総合病院院長 若月俊一氏 「これからの保健・医療・福祉」</p>		

財 産 目 録

(平成6年3月31日現在)

(単位：円)

内 訳	金 額	備 考
貯 金	33,288	
計	33,288	

平成4年度収支決算書

収入の部

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引 額	備 考
会 費	267,000	271,000	4,000	
会 費	267,000	271,000	4,000	271人×1,000円
助 成 金	1,800,000	1,800,000	0	
助 成 金	1,800,000	1,800,000	0	富山県より
特別負担金	4,680,000	4,680,000	0	
特別負担金	3,480,000	3,480,000	0	4連×870,000円
調査研究協力費	1,200,000	1,200,000	0	厚生連より繰入
受 託 料	100,000	100,000	0	
受 託 料	100,000	100,000	0	県より農機災害調査委託費
雑 収 入	69,568	12,397	-57,171	
雑 収 入	69,568	12,397	-57,171	利息等
前期繰越金	643,873	643,873	0	
収 入 計	7,560,441	7,507,270	-53,171	

支出の部

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引 額	備 考
会 議 費	700,000	624,351	-75,649	
総 会 費	250,000	211,065	-38,935	
役 員 会 費	450,000	413,286	-36,714	
事 業 費	5,800,000	5,990,132	190,132	
研究調査費	3,350,000	4,090,866	749,866	各種調査研究費
専門委員会費	50,000	52,636	2,636	〃 打合せ等
研究集会費	500,000	536,002	36,002	日本農村医学会等参加費
会誌発行費	1,400,000	983,860	-416,140	第24巻発行費
編集委員会費	50,000	5,000	-45,000	
通 信 費	200,000	140,598	-59,402	
消耗品費	150,000	172,170	22,170	
備品・什器	100,000	136,475	-100,000	
旅費交通費	150,000	84,520	-65,480	
旅 費 交 通 費	150,000	84,520	-65,480	
事 務 費	240,000	240,000	0	
事 務 費	240,000	240,000	0	20,000円×12ヶ月
雑 費	20,000	20,000	0	
雑 費	20,000	20,000	0	
予 備 費	31,883	0	-31,883	
予 備 費	31,883	0	-31,883	
支 出 計	6,941,883	7,959,003	17,120	
次期繰越金		33,288		

平成6年度事業計画（案）

I. 事業方針

富山県内の農山漁村におけるすべての健康問題を調査研究し、明るく健康な村づくりに寄与する。

II. 事業計画概要

1. 農村の職業性疾患の調査研究
 - ・農村の地域環境並びに農作業の特殊性に起因する健康障害の調査研究
2. 農業災害の調査研究
 - ・農業機械の健康に及ぼす影響についての調査研究，特に騒音及び振動の影響に関する調査研究
 - ・農業機械及び農業機械以外による農業災害事故調査研究
3. 農薬の生体に及ぼす影響に関する調査研究
 - ・農薬中毒の実態調査
 - ・農薬の生体に対する急性及び慢性的影響に関する調査研究
 - ・農薬の生体残留に関する調査研究
4. 健康管理に関する調査研究
 - ・農業従事者の健康状態の把握と保健指導
 - ・農業従事者の健康管理に関する調査研究
 - ・農業従事者の成人病の実態調査とその対策に関する調査研究
5. 農村における社会医学的研究
 - ・農村における高齢者に関する調査研究
 - ・社会変動による農業従事者の健康に及ぼす影響についての調査研究
 - ・都市近郊農村における社会医学的研究
 - ・農村における食生活の変化と健康影響に関する調査研究
6. 農村における特殊疾患の調査研究
 - ・伝染病，風土病等の地域多発疾患の疫学的調査研究
7. 農村における環境汚染と健康影響に関する調査研究
8. 乳幼児並びに学童の健康調査研究
9. 農村の健康会議，健康教室等の実施
10. 研究会誌並びに必要な印刷物の発行
11. 研究集会の参加及び開催
12. その他目的達成に必要な事項

III. 主な事業計画

I. 主な調査研究

- (1) 農業災害に関する調査研究
 - ①富山県における農業機械災害事故調査
 - ②富山県における農業機械以外の農業災害事故調査

- (2) 農薬中毒に関する調査研究
 - ①富山県における農薬中毒の臨床例の収集とその問題点の解析
 - ②農薬散布者の健康調査
 - ③有機リン剤の体内残留に関する調査研究

- (3) 農村におけるアレルギー疾患に関する調査研究
 - ①農村地区における花粉症に関する調査研究
 - ・富山県における空中花粉の飛散状況調査（井波他6カ所）
 - ②農村住民のアレルギー疾患に関する調査研究

- (4) 農作業及び農作業環境と健康障害に関する調査研究
 - ①農作業における粉塵と健康障害に関する調査研究
 - ②ハウス農家の作業環境調査

- (5) 農山村における騒音による聴力障害等に関する調査研究
 - ①農業機械の騒音分析及び作業中騒音暴露量の測定
 - ②農業機械の振動に関する調査研究
 - ③農山村住民の聴力損失に関する調査研究

- (6) 農村環境の変化と健康影響に関する調査
 - ①農村における緑の調査
 - ②農村における大気汚染に関する調査研究

- (7) 農村における生活習慣と健康に関する調査研究
 - ①食生活と健康に関する調査研究
 - ②農村生活の変化と健康障害に関する調査研究

- (8) 農村におけるプライマリーヘルスケアの確立に関する調査研究
 - ①農村における健康管理運動の確立に関する調査研究

- (9) 農村における高齢者問題に関する調査研究
 - ①高齢者に対する農村住民及び医療関係者等の意識調査
 - ②「農村における老化とその対応」に関する調査研究

- (10) その他、農村における各種保健調査、健康調査の実施
 - ①肥満、アルコール、肝疾患等の調査研究
 - ②農村における成人病に関する調査研究
 - ③その他

II. 各種研究集会参加・交流並びに開催

(1) 学会等への参加

- ①第43回日本農村医学会（平成6年10月，つくば市）
- (2) 第12回富山県農村医学研究及び健康管理活動発表集会の開催
（平成7年1月，厚生連高岡病院）
- (3) 中国，河南省との農業災害，農薬中毒，高齢者の実態調査の共同研究

III. 会誌等の印刷物の発刊

- ①富山県農村医学研究会誌第26巻の発刊
- ②その他

IV. その他目的達成に必要な事業

平成6年度収支予算書

収入の部

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
会費収入	329,000	
会 費	329,000	329人×1,000円
助成金	1,800,000	
助 成 金	1,800,000	富山県より
特別負担金	4,680,000	
特 別 負 担 金	3,480,000	4連×870,000円
調査研究協力費	1,200,000	厚生連より繰入
受託料	100,000	
受 託 料	100,000	県より農機災害調査委託費
雑収入	4,805	
雑 収 入	4,805	利息等
前期繰越金	33,288	
収 入 計	6,947,093	

支出の部

項 目	金 額	備 考
会議費	650,000	
総 会 費	200,000	
役 員 会 費	450,000	
事業費	5,850,000	
研究調査費	3,400,000	各種調査研究費
専門委員会費	100,000	“ 打合せ等
研究集会費	500,000	日本農村医学会等参加費
会誌発行費	1,300,000	第26巻発行費
編集委員会費	50,000	
通信費	200,000	
消耗品費	150,000	
備品・什器	150,000	
旅費交通費	150,000	
旅 費 交 通 費	150,000	
事務費	240,000	
事 務 費	240,000	20,000円×12ヶ月
雑費	20,000	
雑 費	20,000	
予備費	37,093	
予 備 費	31,093	
支 出 計	6,947,093	

役員・顧問名簿

平成6年6月4日現在

理 事	役 職
越 山 健 二	全国国保診療施設協議会顧問
森 岡 忠 一	県医務課 課長
伊 藤 英 明	県普及指導課 課長
東 野 宗 朗	県健康課 課長
小 野 啓 安	保健所長会会長・富山保健所 所長
飯 田 恭 子	保健所長会副会長・黒部保健所 所長
石 田 礼 二	富山市民病院 院長
館 野 政 也	県立中央病院 院長
寺 中 正 昭	城端厚生病院 院長
熊 谷 武 夫	高岡市保健センター所長
黒 崎 正 夫	富山県医師会学術担当理事
中 藤 康 俊	富山大学教授
渡 辺 正 男	前富山医科薬科大学教授
長 谷 田 祐 作	元国立富山病院 院長
西 能 正 一 郎	西能病院 理事長
北 川 鉄 人	北川クリニック 院長
加 藤 正 義	厚生連高岡病院 院長
小 川 忠 邦	厚生連滑川病院 院長
豊 田 務 信	厚生連高岡病院 副院長
三 部 孝 信	富山県農協中央会 組織農政部長
林 政 一	富山県経済連生活部 部長
安 宅 清 一	富山県厚生連 参事
前 田 豊 嗣	富山県農協青年組織協議会 委員長
竹 部 喜 代 子	富山県農協婦人組織協議会 会長
金 山 美 寿 子	富山県農協生活指導員協議会 会長
監 事	役 職
美 川 郁 夫	厚生連高岡病院 副院長
島 田 富 士 弥	高岡市農林部長
顧 問	役 職
中 沖 豊	富山県知事
正 橋 正 一	富山県市長会 会長
	富山県町村会 会長 ※
出 口 国 夫	富山県医師会 会長
吉 田 哲 彦	富山県厚生部 部長
堀 田 稔	富山県農業水産部 部長
松 井 信 勝	富山県農協中央会 会長
戸 谷 徳 一	富山県信連 会長
大 角 秀 尚	富山県経済連 会長
吉 田 興 治	富山県厚生連 会長
江 西 甚 昇	富山県共済連 会長

※ 顧問の富山県町村会会長は、6月4日の町村会総会にて決定されてより依頼する。

投 稿 規 定

- 募 集 原 稿** 農村医学の分野における独創的な研究および会員のたよりとします。
- 投 稿 の 資 格** 投稿者は原則として富山県農村医学研究会会員とします。
- 原 稿 の 送 り 先** 富山県農村医学研究会事務局宛（富山市新総曲輪2番21号富山県厚生連内）
投稿原稿の掲載選択順位は編集委員にご一任下さい。

論文の原稿の形式

1. 本文は本会規定の原稿用紙に、口語体、平かな、新かなづかいで、できるだけ簡潔に横書して下さい。
 2. 外人名、地名、その他の固有名詞、特別な化合物名などは、できるだけ原綴のまま（Pasteur, Prostigmin等）とし、動植物名は日本名の次に学名（ローマ字 *Mōcacus rlesus*, 山椒藻 *Salvinabatah*等）を記入する。計量にかんするものはメートル法に準拠し、次のような略号を用いる。メートルm, センチメートルcm, グラムg, キログラムkg等。
 3. コンマ（,）ピリオド（.）コロロン（:）ゴシックの使用等に気をつけて下さい。
 4. 図表は、そのまま製版できるように上質ケント紙または方眼紙に墨で、ていねいに書いて下さい。
（図表は、特殊なものを除いては、出来上がり左右6.5cmに製版しますから、その2倍か3倍に書いて下さい。）
図表の文字は、こちらで記入しますから、鉛筆で書いて下さい。
 5. 写真は出来るだけ鮮明なものをお送り下さい。
 6. 本文に挿入する図表、写真については、挿入場所を原稿の欄外に明記（末記）して下さい。
- 無 料 掲 載** 原稿用紙20枚（刷り上がり5頁）までとします。ただし挿入附図、附表を含みます。
- 有 料 掲 載** 超過頁の印刷代、附図、附表の製版代の実費は投稿者の負担とします。ただし刷り上がり15頁を限度とし長篇の論文を5頁ずつ分割掲載することは認められません。

文 献

1. 雑誌の場合 著者名、標題名（雑誌指定の略号）、巻数（号数）、頁一頁、発行年月（昭和52.5のごとく。）
 2. 単行本の場合 著者名：標題名、発行所、発行地、発行年月（必要ならば引用の箇所を最後に）
- 印 刷** 印刷の部数や体裁などについてはある程度まで、実費をもってご希望に応じます。ただし別刷30部までは無料で投稿者に進呈、30部以上は実費をご負担願います。

編 集 後 記

1995年は、食と農村を巡る情勢も極めて大きな変化のあった年となりました。1月のWTOの設立と米の一部自由化、5月の食品衛生法の改正、11月の新食糧法の制定等、極めて大きく揺れ動いています。

さらに1月には阪神大震災、またオウム教団が引き起こし一連の事件、いじめ問題。1990年代中期の日本は、極めて社会不安の多い年となりました。

故豊田文一先生は、常々「その国の農村を見れば、その国の本当の姿が分る。」と言われていました。日本の農業は益々軽んじられようとしています。農業は命を生み出し命を育てる産業です。その命を軽視する社会的風潮が、オウム問題やいじめ問題と無関係と言えるでしょうか。

本会は、設立依頼、明るく豊かで健康な農村の建設めざして邁進してきました。越山会長が提案されている、精神の荒廃、これは現代における新しい「第2の農夫症」と規定しその解決に向い農村医学が邁進すべきとの提案は、益々重みを持つ様相を呈しています。その精神の基づいた報告が本誌にも発表されていますが、今後もこの問題提起が富山の地から発信され、全国で展開されることを望んでやみません。

(E. O)

編 集 委 員 越山健二、長谷田祐作、渡辺正男、北川鉄人

富山県農村医学研究会誌 第26巻平成7年3月25日印刷・3月31日発行
富山市新総曲輪2番21号・富山県厚生連内 電話 富山(0764)45-2307
編集、発行所 富山県農村医学研究会 事務局長 膳 亀 悠紀雄
印 刷 所 中央印刷株式会社 富山市下奥井町 電話(0764)32-6572
